



0歳児 ひよこぐみだよ!

令和6年12月1日

早いもので今年もあと1ヶ月になりました。先月は天気の良い日はたくさん戸外に出て遊びました。戸外に出ることが好きな子どもたちは「外に行く人?」と保育者が声をかけるなり「はい!」と嬉しそうに手をあげ、帽子を指差しして被ろうとしたり、靴下や靴を自分で取りに行ったりと、戸外に出る身支度を少しずつ覚え、自分で行おうとする姿が見られるようになりました。公園では、保育者や友だちと一緒に探索をして遊んだり、順番に滑り台やブランコに乗って遊んでいます。また、砂場遊びを初めて行った時は砂を触ることに戸惑っていたり、触ろうとしない子の姿が見られていました。そして何度か遊んでいるうちに感触にも慣れ、砂場用の玩具を使って砂をすくって皿に入れたり、入れた砂を「ジャー」と出したり、保育者が作った砂の型抜きを手で壊したりと、砂遊びを楽しめるようになった子どもたちです。

砂遊びは、砂をつかむ・握る・固めるためには細かい手先の動きが要求されるため、手先が器用になります。また、イメージしたものを作るには、創造性が必要になり、完成させるには集中力が必要です。友だちと一緒に作るなら協調性も欠かせません。不安定な砂場で「立つ」「座る」「しゃがむ」といった体勢を保つには、バランス感覚も必要となってきます。砂に触れるということは五感にとっても良い刺激となるので、今後もたくさん取り入れていきたいと思えます。

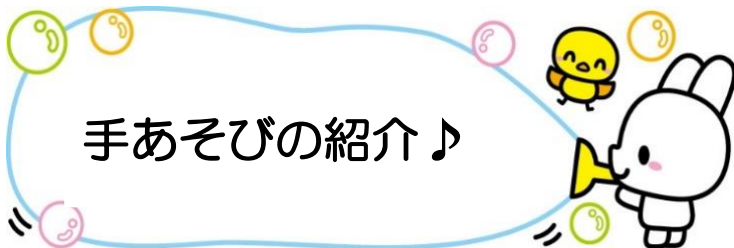


○今月のねらい

- ・戸外で体を十分に動かし、寒い季節を元気に過ごせるようにする。
- ・発語やしぐさから思いを受け止めてもらい、言葉のやり取りや触れ合いを楽しむ。

○活動内容

- ・散歩（本園、本町公園、徳親公園など）
- ・指先遊び・体操遊び など



ひよこ組の最近のお気に入りの手遊びは“やさいのうた”です。いろいろなやさいの動きがあるのですが、出来る動きが増えてきました。ぜひお家でもやってみてください♪



おねがい

ズボンを自分で下げようとしたり、袖の穴を見つけて手を通そうとしたりと衣服の着脱に興味が出てきて、保育者が援助をしながら着脱に取り組んでいる子どもたち。着脱がしやすいように上下がわかれている洋服や、伸縮性のある柔らかい素材の物を準備して頂けると、子どもたちも着脱が行いやすいと思えますので準備して頂けるようお願いいたします。